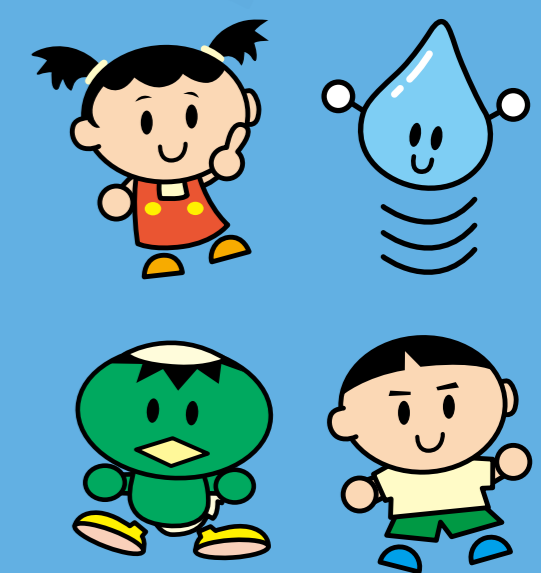


水がとどくまで



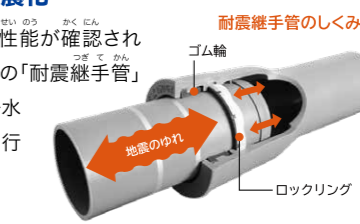
森の恵みをあなたのもとへ
神奈川県営水道

災害に備えて

県営水道では、大きな地震や災害が起きた時にも、飲み水を確保できるよう、さまざまな対策をしています。

● 水道管や水道施設の耐震化

東日本大震災などでも耐震性能が確認されたつなぎ目が外れにくい仕組みの「耐震継手管」の布設を進めています。また、浄水場や配水池などの耐震診断を行い、耐震補強を行っています。



● 飲料水の確保

災害用指定配水池等を37か所指定し、常時およそ33万m³の水を蓄えています。地震災害からおおむね水道が復旧するまでの間、これらの災害用指定配水池では、お客様1人あたり約120リットルの水を提供することができます。

● 応急復旧による早期給水開始

万が一水道管が壊れた場合も、一刻でも早く直せるように水道工事店の組合と協定を結んだり、県内外の他の水道事業者とも応援しあえるよう万全の体制を整えています。また、修理用材料を、災害用保管倉庫に保管しています。

● 水の相互融通化

浄水場や水道管に被害があった場合でも、安定給水ができるよう、ほかの浄水場から水が送れるようにしています。

● 応急給水活動の支援

非常用貯水タンクの設置の支援や、給水車、給水タンクの配備など市町が行う応急給水を支援します。



しっかり地震対策訓練

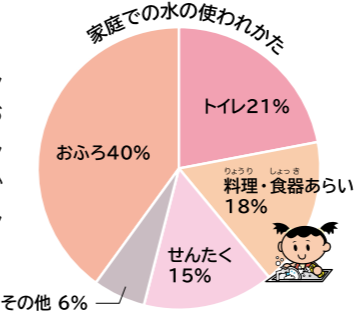
地震発生時の応急対策を円滑に行うため、被害箇所を想定しての応急復旧訓練、市町との応急給水訓練等を定期的実施しています。

くらしの中の水

～水はどんなふうに使われているの？～

くらしにかかせない水

わたしたちは毎日のくらしのなかで、かならず水のお世話になっています。くらしのなかでどんなことかわれているか調べてみましょう！



1日でする水の量はどれくらい必要なの？

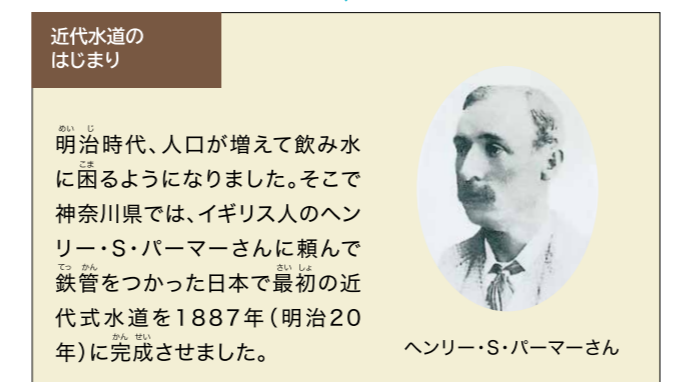
県営水道給水区域内では1人の人が1日に使う水の量は、およそ240リットルです。生活の中での水の使われかたをみてみましょう。



これらの数値は、日頃の水の使用量がどの程度のものかを分かりやすくするために掲載したもので、一般的な量の目安としてご覧ください。

「水道のあらまし」日本水道協会を参考とし、数値は目安です。

水道のうつりかわり



KANAGAWA WATERWORKS MUSEUM
水道記念館
神奈川県高座郡寒川町

水のことを楽しく体験・学べる館内には発見がいっぱい。美しい庭園も併設しています。

- 開館時間 午前9:30～午後4:30
- 月曜日休館 (祝日の場合はその翌日)
- ※ 年末年始休館 (12月29日～1月3日) 2月第4週休館 (月～金曜日)
- 入館料 無料 ● 駐車場 あり
- ※カーナビをご利用の際は「寒川町宮山3998」を入力すると駐車場付近が案内されます。

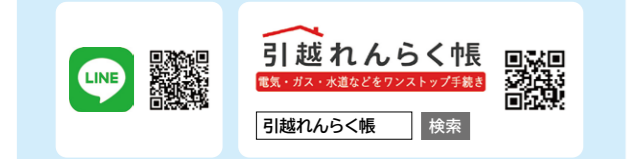


神奈川県水道記念館 検索

水道に関する手続き

支払い方法について
口座振替やクレジットカードによる支払い等があります。神奈川県営水道ホームページや右の二次元コードからご確認ください。

お引越しのお手続き
神奈川県企業庁LINE(水道の開始・休止の手続き)や、「引越れんらく帳」で24時間受け付けています。



その他水道に関するお手続き
各種お手続きに関する情報は、神奈川県営水道のホームページをご覧ください。お客さまコールセンターへお問合せください。

神奈川県営水道お客さまコールセンター
ナビダイヤル ☎ 0570-005959
受付: 月～土曜日/午前8時30分～午後7時
※日曜・祝日及び年末年始(12/29～1/3)を除く
※月曜日や祝日明けの午前中は電話が混み合うことがあります。
FAXナビダイヤル 0570-014032
※ナビダイヤル・FAXナビダイヤルは、通話・通信料金ががかかります。

県営水道へのご意見・ご要望をお寄せください

郵送 〒231-8588 (住所省略可) 県企業庁総務室「お客さまの声」係
FAX 045-210-8900
ホームページでも受け付けています

編集・発行 2023年3月発行
神奈川県企業庁企業局水道部経営課 管理広報グループ
TEL 045-210-7215 (直通)
神奈川県企業庁 検索

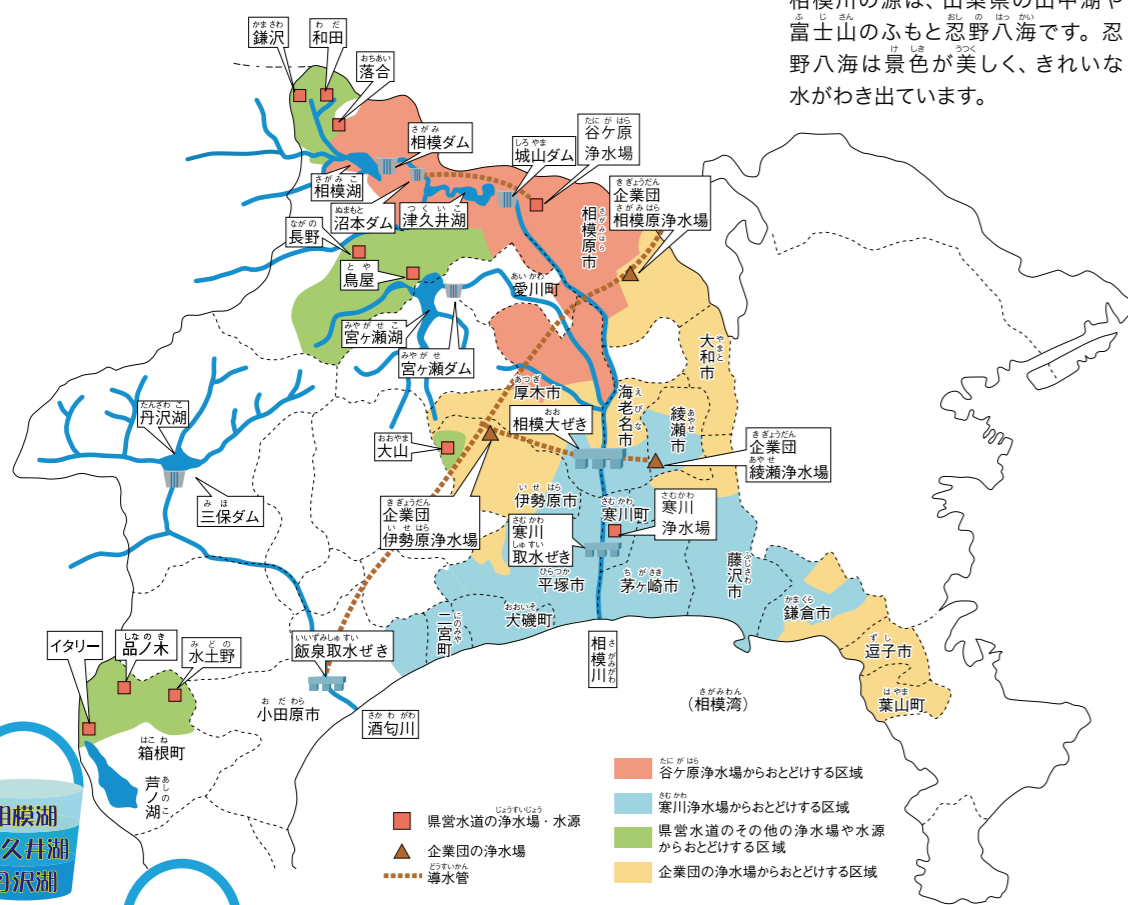
水はどこからくるの？

～おもな水源と給水区域～

いつでも必要なだけ水を使えるくらしは、おもに相模湖、津久井湖、宮ヶ瀬湖、丹沢湖の4つの湖に支えられています。



相模川の源は、山梨県の山中湖や富士山のふもと忍野八海です。忍野八海は景色が美しく、きれいな水がわき出ています。



宮ヶ瀬湖は、総貯水量1億9300万m³。これは、相模湖、津久井湖、丹沢湖の3つをあわせた貯水量とほぼ同じ。この4つの湖のおかげで、水不足の心配がほとんどなくなり安心して水道をお使いいただけます。

企業庁のホームページでは貯水量データを毎日更新しています。

なんと！
横浜スタジアム
およそ600席分

水の旅。～ダムからじゃ口へ～

水源林のはたらき

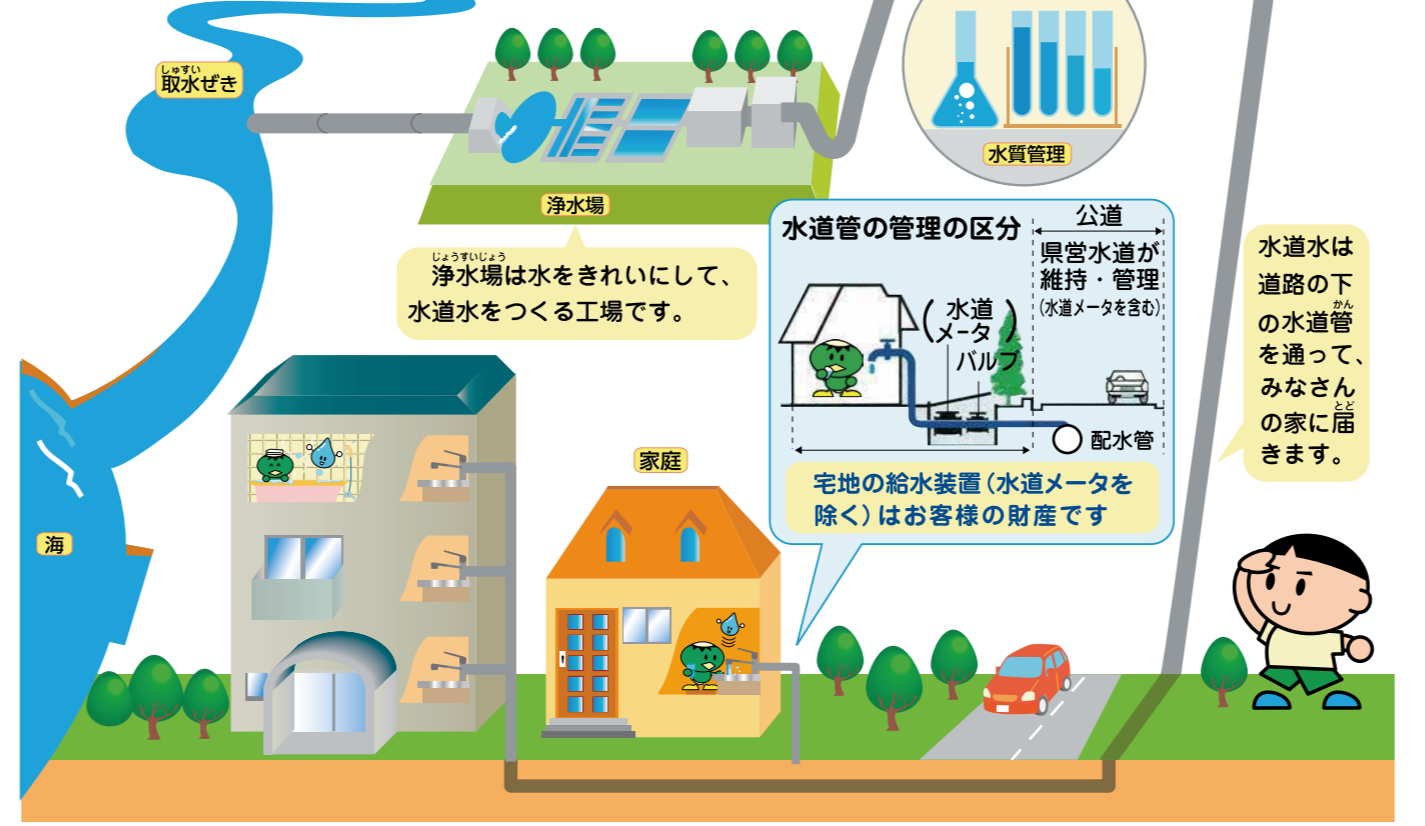
森林は、山に降った雨水を地下水としてたくわえる自然のダムとしての役割をもっています。神奈川県ではこの水源の森林を守り、つくっていく事業を行っています。みなさんも水源の森林をたいせつに守り、育てましょう。



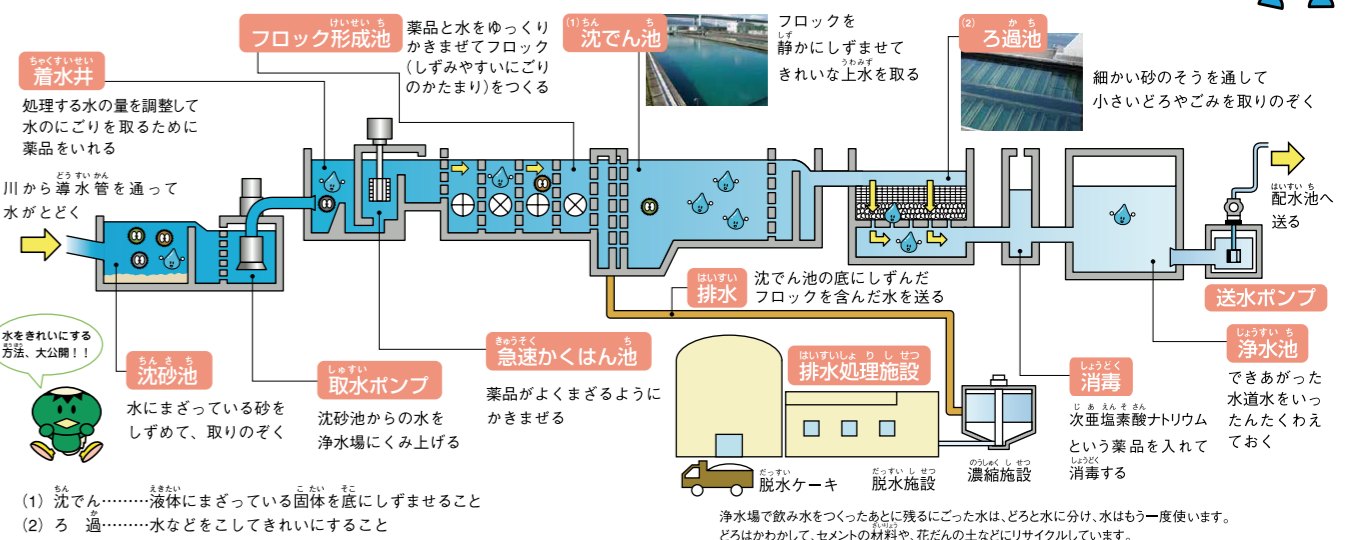
ダムのはたらき

ボク、ダムエレキくんだよ。ダムはね、雨が降って川の水が増えたら水をためておき、川の水が少なくなったら、ためた水を流して川の水量を調節しているんだ。これがダムの主な役割なんだよ。

配水池は浄水場でできた水道水をためておくところです。



水の工場、浄水場。



だから安心して飲めるのね!

水の検査

県営水道では、すべてのお客様に安心して水道水を利用いただくために、水源から給水栓(じゃ口)まで、一貫した水質検査を実施し、飲み水としての安全性を確認しています。このうち、給水栓については、給水区域内の20地点において、定期的に150種類以上の項目に関する検査を行っています。



太陽光発電

寒川浄水場では、環境に配慮した取組の一環として、「ろ過池」などの一部に太陽光発電設備がついた「ふた」を取り付けています。太陽光発電は、地球温暖化の原因である二酸化炭素を出さない、環境にやさしい発電方法です。できた電気は、すべて浄水場で使っています。

